



なかごころ (那珂心)



福岡市立那珂小学校
校長 池田 彰治



【細〜く、長〜く続けてほしいな】

ボランティア『那珂小を美しくし隊』活動開始！

毎朝、職員が玄関前や正門周辺を掃除していますが、10月の初め頃から、子どもたち数名が手伝ってくれるようになりました。昇降口を開ける7時50分までの間の15〜20分間、みんな熱心に働いてくれ、大変嬉しいです。この時期は桜の葉がたくさん落ち、12月まで続きますので、とても助かっています。

実はこの活動は、4年前、平成28年度の6年生が自主的にボランティアとして落ち葉掃きやあいさつ運動をしてくれたのが始まりです。その後、メンバーは毎年変わるものの、『那珂小を美しくし隊』というグループ名をつけて活動を続けてきました。

このように自分から進んで他の人のため、学校のため、社会のためにしていることは、いつかは自分に返ってきます。見えないけれども、自分の力として心に蓄えられるのです。「人のためやみんなのためは、自分のため。」そんな気持ちをもった“隊員”が増えてくれることを願っています。また、「継続は力なり」という言葉もあるように、毎日でなくともできる日、できる時に行い、長く続けてほしいものです。

♪♪ NAKA歌声発表会、間もなくです ♪♪

校長室にいますと、あちらこちらの教室から那珂っ子の美しい声が聞こえてきます。11月4日(水)に始まる『NAKA歌声発表会』に向けての練習です。

昨年度までの今の時期は、全校での学習発表会の練習の声や楽器の音が体育館から響いてきていましたが、今回は学級ごとに10分間の持ち時間で表現活動を行うというものです。大声を張り上げるのではなく、しっとりとした歌声、素晴らしいハーモニーの仕上がりが楽しみです。校長室の真上の教室からは、リズムカルな手拍子や足踏みが聞こえてきます。ボディパーカッションをしているようです。ここ数年の学習発表会では見られなかった試み。これにも大いに期待しています。

自然と なかよし vol. 30 (那珂小スケッチ)

10月19日(月)、夕方の5時ごろ、空を見上げると、一面が写真のような雲におおわれていました。

空が澄み渡る秋によく見られるのもので、正式には、巻積雲(けんせきうん)といいます。これには、形によって、「うろこ雲」「いわし雲」「さば雲」という俗称がありますが、この日のものは、「さば雲」のようです。魚の鱗の背にある模様 に似ていることからつけられた名前だそうです。

ちなみに、「うろこ雲」はその名の通り、魚の鱗のような形、「いわし雲」は、鰻の群れのような形です。また、これらは、低気圧が近づき、天気が崩れる時に発生する雲だそうです。21日(水)と22日(木)は、やはり雨でした。

大人も子どもも、日々忙しくしていると、空を見上げることがあまりないかもしれませんが、時々はながめるといいですね。素晴らしい風景に心が洗われることがあります。

(本校ホームページに掲載した学校だよりで写真をぜひご覧ください。)



【思わず、しばらく見とれてしまいました】

